

次なる一手、勝負の刻

将棋フェスティバル IN 野々市

11月11日(土)、12日(日)、文化会館フォルテにて「将棋フェスティバル IN 野々市」が開催されました。木村一基九段、豊川孝弘七段、都成竜馬七段、室田伊緒女流二段、井道千尋女流二段(珠洲市出身)のプロ棋士5人による指導対局やパワーアップ講座、トークショーなどが行われ、全国から訪れた将棋ファンで盛り上がりを見せました。公開対局では、都成七段とアマチュア代表の河内健太郎さんによる熱戦が繰り広げられ、その横では、木村九段と豊川七段によるユーモアを交えた大盤解説で会場を沸かせました。その他、記念大会やお楽しみ抽選会、各種物産展などたくさんの催しが行われ、将棋の魅力を存分に満喫した2日間になりました。



お楽しみ抽選会(景品はプロ棋士のサイン色紙)



公開対局(木村九段と豊川七段の面白い解説に、対局中の都成七段も思わず笑顔)



大盤解説(日本酒「狸々」の話題も!?)



指導対局(プロ棋士に教わる貴重な体験)



記念将棋大会(中学生以下B決勝)



実業市の駒師制作実演販売会



ツバキを題材にした多様な作品。野地氏の話に引き付けられます。

作家の嗜好をのぞいて

みんなのアート展Ⅱ期「椿、咲く」「椿とともに」

11月2日(土)～26日(日)、学びの杜ののいち カレードでみんなのアート展Ⅱ期が開かれ、岸田劉生や尾形光琳などの他、金沢美術工芸大学日本画修了生の作品が並びました。11日(土)には、作家である日本画修了生と、キュレーターの野地耕一郎氏によるギャラリートークが行われ、来場者は制作の背景や画法を聞きながら作品を鑑賞しました。作家により嗜好も視点もそれぞれ。それらを知ることで、個々の感性だけでは気づけない作品の面白さを感じた様子でした。



白いティラノサウルス(うちのシロ)も元気に闊歩。

4年ぶりの通常開催!

第11回北国街道野々市の市

11月12日(日)に旧北国街道(本町通り)を歩行者天国にして歴史的景観を楽しめるイベント「北国街道野々市の市」が開催されました。当日は、あいにくの雨模様でしたが、「館家(旧旅籠)のフラワーアレンジメント展」など新しい企画もあり、たくさんの人でにぎわいを見せました。立ち並ぶ飲食ブースやキッチンカーからは食欲をそそる匂いが立ちこめ、「弁慶の力石コンテスト」や「ゆるキャラ大集合」では、子どもたちの笑顔が溢れるその様子は、まるでかつての「市」をほうふつとさせていました。

Focus

まちの話題
皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎227-6056

学びと文化の祭典

ののいちマナビィフェスタ 2023

10月28日(土)、29日(日)ににぎわいの里ののいち カミーノでののいちマナビィフェスタ 2023が開催されました。

各地区の公民館のサークルなどが、展示やステージ発表を通じ日々の活動の成果を披露しました。また、ドローンやつまみ細工などの体験コーナーも設けられ、新たな楽しみに出会う来場者の姿が見られました。

フィナーレを飾ったのは、Black Bottom Brass Bandによる屋外ジャズライブ。観客は、陽気なトロンボーン奏者に乗せられ、手を振り、声を出し、全身でジャズを楽しみました。

ステージ発表の様子は
市公式 Youtube →



10/28(1日目) 10/29(2日目)



明るい歌声で会場が活気付けました



直前の雨もはねのけて(ジャズライブ)



華麗なフラダンス

行列の手打ちそば

つまみ細工に挑戦



菜の花を描いた作品。光を反射し、輝いているように見えます



自らの作品を解説する中国氏



ツバキの葉のチョコレート



「うら庭」の弁当と「秋あがり」



坂口氏と般若氏の息の合った演奏

喜多家で過ごす贅沢な時間

IKERU NONOICHI 2023

11月4日(土)～12日(日)に IKERU NONOICHI 2023 が開催されました。「北国街道・野々市を IKERU (生ける・活ける・いける)」がコンセプトの本イベント。喜多家住宅では、日本画とともに JINAN によるフラワーアートが展示されました。うっすらと暗い建物の中で、日本画とフラワーアートがぼっと照らされる静かな空間。訪れた人はゆったりとした時間の流れを楽しみながら各作品に足を止めていました。

展覧会に合わせ、「ののいち茶会」(11月3日(金・祝))と、日本酒「狸々」とのペアリングイベント(11月11日(土))も開かれました。両イベントは、展覧会を野地耕一郎氏や作家の解説付きで鑑賞した後、お茶や料理を楽しむもの。ののいち茶会では、サンニコラが本イベントのために作ったチョコレートが茶菓子として振る舞われました。椿山で採取したツバキの葉をかたどったチョコレートは一つ一つ形が異なり、参加者は愛おしそうに眺め味わっていました。ペアリングイベントでは、郷土資料館 NoNo にてバイオリンとビオラの演奏も披露されました。「狸々」の季節限定酒「秋あがり」と料理を堪能しながら、音楽にも酔いしれる贅沢な時間となりました。